

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.328



経営体宇佐地区の大区画ほ場

Contents

- 02 会長あいさつ
- 03 県幹部新年度あいさつ
農林水産部長、農村整備計画課長、
農村基盤整備課長
- 06 トピックス
・「『南一郎平』没後100年」ならびに「『広瀬井路』
通水150年」記念式典の開催
- 07 会議・要請活動
・大分県土地改良区理事長会と県知事懇談会の開催
・令和元年度 土地改良役職員研修会を開催
- ・土地改良区複式簿記会計システム合同説明会を開催
・令和元年度 災害復旧技術向上のための講習会
・第3回監事会及び第4回理事会が開催される
・第62回通常総会が開催される
- 10 連合会・県の職員配置
- 11 水土里ネット大分 各部課所長の紹介
- 12 退職者の紹介
新入職員の紹介
年間行事予定表

5
2020
May



会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経 賢二

会員ならびに関係者の皆様には、本会の運営及び県農業農村の振興発展にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

農業・農村は、食料の安定供給とともに、地域の経済を支える重要な役割を担っています。しかしながら、人口減少・少子高齢化による労働人口の減少が都市部でも叫ばれている昨今、農村部では、都市部以上に高齢化・人口減少や農業の担い手不足などが顕著であり、集落機能の低下、中山間地域を中心とした耕作放棄地の増加、さらには、農業の基盤を支える農業水利施設等の老朽化による機能低下など、喫緊の課題に直面しています。また、TPP協定などに代表されるグローバル化の波は都市部・地方部の区別なく押し寄せ、我々を取り巻く情勢は大きな変革の途にあるといえます。

このような大転換期に、我が国の食料・農業・農村の将来にとって非常に重要な意味を持つ「新たな食料・農業・農村基本計画」が3月末に閣議決定されました。その中には「農業生産の現場では、100haを超える大規模経営や、地域のエネルギーと先端技術を活用した施設園芸に取り組む経営など、従来は想定されていなかった新たな経営も出現しているが、こうした新たな動きは、いまだ農業・農村の発展を力強く牽引しているとはいえ、農業就業者の高齢化や農地の荒廃など農業・農村をめぐる環境は極めて厳しい状況にあり、多くの人々が将来に強い不安を抱いているのが現状である。」とあります。大分県においても、宇佐平野に代表する平野部では農地の大区画化、汎用化が進んでいる一方、中山間地域においてはまだまだ道半ばです。また、畑地かんがい施設の整備による管理の省力化、効率化など我々がハード部門として取り組んでいかなければならない課題が多くあると認識しています。

そういった課題を解決するには、安定的・計画的な予算の確保が必要です。令和2年度当初予算は臨時特別の措置・補正を含め、6,515億円となり、対前年比101%と増額となりましたが、当初予算のみで比較しますと大幅削減前の平成21年度当初予算の77%と、まだまだ地域が望む早期の整備が望めない状況にあり、これからも農業生産基盤の整備・更新の重要性を強く訴えていく必要があります。

大半が中山間地域である大分県においては、水路の5割が更新時期を迎え、9割以上が明治時代以前の築造であるため池も老朽化が進んでいます。また、近年の台風、異常降雨や地震等によりこれらの施設の被災リスクは高まっています。このような施設を管理する市町村、土地改良区に対し被災時の対応や、様々な土地改良事業に関する計画から多面的機能支払交付金をはじめとする実施後の管理事業にいたるまでの支援を行い、会員皆様の要望に応じて参りたいと考えています。

今後も、農業農村を下支えしている皆様方の負託に応えるべく、土地改良連合会の総力を挙げて業務執行に努めます。なお一層のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスによる影響が、1日でも早く収束することを祈るとともに、会員皆様方におかれましても、ご健康に留意されますよう切にお願い申し上げます、ご挨拶と致します。



大友農林水産部長のご挨拶

大分県農林水産部

部長 大友 進一

大分県農林水産部長の大友でございます。本年度も引き続き宜しく申し上げます。

水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農林水産業の振興に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るっており、本県でも多くの感染者が確認される中、生産活動や通常業務などにも多々、支障が出ていることと存じます。

このため、県では、国の経済対策と併せ、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける農林水産事業者の方への支援を行えるよう、努めて参ります。

皆様方におかれましては、なお一層、感染拡大防止にご協力頂くとともに、ご健康に留意されますようお願い致します。

さて、農林水産業を取り巻く情勢は、少子高齢化・人口減少の急速な進行やTPP11等をはじめとする国際化の加速など、大きな変革期を迎えています。本県の情勢に目を移しましても、農業産出額の低迷、担い手の減少など、多くの課題に直面していますが、一方でベリーツや、おおいた和牛等の数多くのブランド品が生まれていることに加え、新規就業者や参入企業が年々増加し、本県農林水産業を担う経営体の確保・育成が確実に進んでいるなど、明るい材料も数多くあります。

このような中、県では、平成27年度に策定した農林水産業の長期計画である「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」を昨年度末に改訂し、農林水産業による創出額について、令和5年度の目標値を2,650億円へと見直しました。

農業分野においては、目標達成に向け、水田への高収益な園芸品目等の新規導入面積を令和5年度までに700ha、令和10年度までに1,500haを目標に水田農業の構造改革を推進し、併せて、大野川上流地域など大型プロジェクトを契機とした園芸産地の高度化を加速的に推進して参りたいと考えています。

このため、県は市町が作成した70地区の「園芸団地づくり計画」について、3月末に第1弾の認定を行いました。計画に位置づけられた地区や担い手に対し、重点的に支援を行うなど、これまで以上に市町や土地改良区、JA等の農業団体と連携を図り、高収益作物の導入を進めていきたいと考えています。

また、これら施策を着実に推進する上で、農業農村整備の果たす役割は極めて重要であり、農地整備に加え、国土強靱化に向けた取組を着実に進める必要があると考えています。引き続き皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、水土里ネット大分の今後ますますのご発展と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



黒垣農村整備計画課長のご挨拶

大分県農林水産部農村整備計画課

課長 黒垣 圭 則

本年度の異動により、大分県農村整備計画課長に就任しました黒垣でございます。宜しく
お願い致します。

会員の皆様には、常日頃から本県の農業農村整備事業の推進にあたり、多大なるご理解と
ご支援を頂き、心から感謝申し上げます。特に令和2年度の当初予算につきましては、会員
皆様のご支援、ご協力のおかげで、国予算、県予算とも、対前年を上回ることができました。

今後も予算確保に向け、引き続き国等へ要望していく所存ですが、そのためにも農業農村
整備事業の必要性をPRする「広報」の重要性を改めて感じています。今年1月に宇佐市の
広瀬井路通水150年にあたり、南一郎平翁の偉業を称える記念式典が行われたところ、一般
紙にも数多く取り上げられるなど、井路開削の苦労とその意義が周知される良い機会となり
ました。会員の皆様方にも土地改良施設の重要性を機会あるごとに広報して頂ければと思い
ます。

さて、本県農業は、九州最下位の産出額からの脱出、米依存からの脱却のため、大きな転
換を図る必要があり「魅力ある、もうかる農業の実現」に向け、農業農村の土台となる基盤
整備を強力に推進する必要があると考えています。

まず、「農林水産業による創出額」の向上に向け、水田畑地化による高収益作物の導入、
ほ場の大区画化や水路のパイプライン化等による生産コストの縮減、並びに、農地の再編整
備と併せ、品質・収量向上に向けた畑地かんがい施設の整備などによる園芸団地づくりを推
進し、農業の構造改革に取り組んで参ります。

また、農業農村の保全や多面的機能の発揮を図るため、多面的機能支払交付金について、
会員の皆様と連携のうえ、組織の広域化を推進し、事務負担の軽減や取組面積の拡大に取り
組んで参ります。併せて、地域農業を土地改良施設の維持・管理等を通じて支えて頂いてい
る土地改良区におかれましては、令和4年度から始まる複式簿記化に必要な土地改良財産の
資産評価について、大分県土地改良事業団体連合会と連携し、支援して参ります。

さらに、農業水利施設の長寿命化と計画的な更新やため池の改修・ハザードマップの整備
など防災・減災対策を推進します。

これらの取組により、「元気で豊かな農業農村づくり」の実現に努めて参りますので、会
員皆様の益々のご支援、ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、現在、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい、国内でも全都
道府県に緊急事態宣言が出されるなど、未曾有の事態となっています。会員皆様方におかれ
ましては、これまで以上に健康に留意されますとともに、今後のご活躍を心からお祈り申し
上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



安東農村基盤整備課長のご挨拶

大分県農林水産部農村基盤整備課

課長 安東 正 浩

本年度の異動により大分県農村基盤整備課長に就任しました安東でございます。どうぞ宜しくお願いします。

会員の皆様におかれましては、常日頃から本県の農業農村整備事業の推進に当たりまして、多大なるご理解とご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルスが全国的に感染拡大する中、国は緊急事態宣言を全都道府県に発令するなど、まさに国を挙げて感染防止に向けた取組が行われています。会員の皆様におかれましては、不要不急の外出自粛や会議の延期など、感染拡大防止の徹底にご協力頂いていることと存じます。先行きが見えない状況ではありますが、ご健康に十分ご留意されますよう切にお願い申し上げます。

さて、本県の農業・農村においては、令和2年3月に農林水産業の振興の基本指針である「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」の改訂が行われ、令和5年度の目標指標である創出額を2,650億円と定め、市町村や関係団体と連携し、関係機関が一丸となって着実に取組を進めていくこととしています。

中でも本県農業の生産基盤を支える農業農村整備事業については、水田農業の構造改革に向けた水田の畑地化に必要な排水対策や、生産コストの削減に向けたほ場の大区画化等を積極的に推進していきます。

なお、水田畑地化の加速化に向けて、本年度、施設園芸や果樹の導入に向けた基盤整備を実施する場合において、担い手からの要望に迅速に対応できるよう、事業実施に係る面積要件を平坦部10ha以上（中山間5ha以上）から2ha以上へと緩和を行ったところであります。

また、ため池の防災減災対策については、国が示した防災重点ため池の基準に基づき全てのため池について見直しを行った結果、572箇所から1,112箇所と大幅な増加となったところです。

今後は、防災重点ため池を中心に緊急度・危険度に応じたため池改修及び廃止等のハード対策とハザードマップ等のソフト対策を一体的に実施していきます。加えて、農業用水路等についても、現状の老朽化状況等を把握し、中長期計画を策定したところであり、今後、適切な時期に的確な工法で補修・補強工事を実施する施設の長寿命化対策や素掘水路トンネルのライニング等の整備を計画的に進めて参ります。

こうした取組を着実に実施するために必要な農業農村整備事業予算については、引き続き、国に対して予算規模の拡大とともに、本県における予算確保に全力で取り組んで参りますので、「水土里ネットおおいた」の皆様のご支援、ご協力の程、宜しくお願いします。

最後に、「水土里ネットおおいた」の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

「『南 一郎平』没後100年」ならびに「『広瀬井路』通水150年」記念式典の開催

明治時代初期の殖産興業による国家プロジェクトとして日本の近代国家建設に貢献した日本三大疏水事業（安積（福島県）、那須（栃木県）、琵琶湖（滋賀県～京都府））の父と呼ばれる「南 一郎平」（宇佐市金屋出身）の没後100年、また、水利に乏しい駅館川東岸の台地に120年余りの歳月を費やし5度にわたる工事で遂に南 一郎平が完成させ、宇佐平野が県内最大の穀倉地帯へと変貌していくのに大きく貢献した「広瀬井路」の通水150年を記念する式典が、1月19日（日）、宇佐文化会館で開催された。地元有志でつくる実行委員会の主催で、式典に先立ち、地区の公園で記念碑除幕式も行われた。



広瀬知事の揮毫による記念碑

南 一郎平の遠縁にあたる女優賀来千香子さんの特別講演もあった式典では、南 一郎平に資金援助した日田の豪商広瀬久兵衛の子孫である広瀬知事をはじめ、横井九州農政局長、是永宇佐市長、義経県土連会長が挨拶を行った。義経会長は「農業土木の出身、土地改良の視点で南 一郎平を語りたい」と前置きした上で、120年もかかった難工事について、測量機械のない時代に提灯・線香を使っただけの測量や岩を油・薪を燃やし冷水をかけて一寸ずつノミで掘り進んだ苦勞、上水（公用）と異なり私用と見なされていた農業用水事業の資金繰りの苦勞、完成後の維持管理の苦勞など、事務的な領域も含め全てに責任を負う統括責任者としてたいへん苦勞したであ

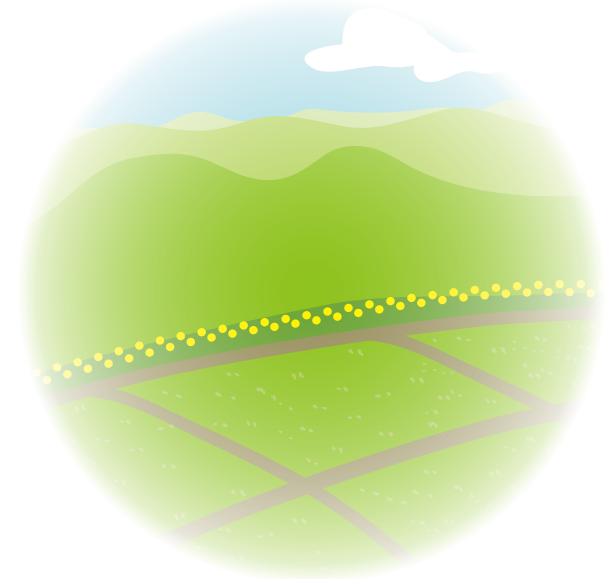


女優 賀来千香子さん(中央)によるトークショー

ろうことなどにも言及。最後に、南 一郎平に関わった安積・那須疎水も登録されている世界かんがい施設遺産への登録への気運盛り上がりや期待する言葉で締めくくり、約1,200人の立ち見も出るほど大ホールを埋め尽くした来場者に、農業用水の重要性、貴重な地域資源を次世代に引き継ぐことの必要性などを強く訴えた。



“土地改良”の立場から熱く語る 義経会長



会議・要請活動

●大分県土地改良区理事長会と県知事懇談会の開催

1月15日（水）大分県土地改良区理事長会（以下、理事長会）は、広瀬勝貞大分県知事と懇談会を開催した。冒頭に水土里ネット大分義経賢二会長は、広瀬県知事に対して農業水利施設の突発事故対応として本年度に突発事故復旧制度が県単独事業として創設されたこと、また農業農村整備事業への深い理解と支援を頂いていることに対して謝辞を述べるとともに今後も農業、農村の発展に尽力していきたいと挨拶をした。

その後、理事長会の佐藤一富会長（提子土地改良区理事長）をはじめ10ブロックの代表理事からも広瀬県知事に感謝の言葉が述べられるとともに「小規模改良区への支援」「老朽

化した農道橋の更新事業」「多面的機能支払活動組織への交付金早期交付」などを要請した。

広瀬県知事からは「よく調べ、どのようなやり方が適切かを検討したい」との回答があり、土地改良区への助成制度創設などを引き続き、国に働きかけることも約束された。



謝辞を述べる義経会長



要請する佐藤一富理事長会会長

●令和元年度 土地改良役職員研修会を開催

1月22日（水）別府市の亀の井ホテルにおいて、令和元年度土地改良役職員研修会を開催した。県、市町村、土地改良区の関係者約280名が出席する中、来賓として農林水産省農村振興局整備部より長山多面的機能支払推進室長、九州農政局農村振興部より國廣多面的機能支払推進室長、大分県より農林水産部大友部長、加藤参事監、農村基盤整備課黒垣課長、県議会より森県議、加えて大分県農業農村整備事業推進協議会より是永会長（宇佐市長）が出席した。

開催に当たり、義経会長より「年明け早々に広瀬知事との懇談会を開催。突発事故に対する制度拡充の御礼とともに改正土地改良法対応のための支援、多面的機能支払交付金の早期交付など強く要望した。農業農村整備事業予算が6,515億円に回復したが、会員が抱える問題を解決するには当初予算の確保が必要であり、今後とも全力で取り組んでいく」と挨拶。その後、大友農林水産部長、是永推進協議会長より祝辞があった。

講演では、「土地改良区と多面的機能支払活動



組織の連携について」（農林水産省農村振興局長山推進室長）「土地改良区検査と監査」（大分県農村整備計画課河野課長補佐）「認知症の予防と共生をめざして」（大分県厚生連健康管理センター曾我部長）の三題で講演した後、研修会のために貴重な時間を割いて来県した進藤金日子参議院議員より「農業農村整備と農村地域政策について」を演題として講演があった。研修後の意見交換会では、進藤参議院議員をはじめ多くの来賓者の出席があり、県下の土地改良関係者と親睦を深め、盛会のうちに閉会した。

●土地改良区複式簿記会計システム合同説明会を開催

1月28日（火）土地改良会館において、土地改良区会計基準及び会計細則に準拠した会計ソフトに関する合同説明会を開催。土地改良区の運営実態や会計の特性に配慮した会計ソフトの選定・導入は必要不可欠と考えており、複式簿記会計への円滑な移行を支援することを目的として関連企業3社の協力を得て、県内土地改良

区の役員及び会計担当職員など約90名が参加し行われた。

土地改良区の貸借対照表作成が令和4年度から義務化されるため、参加者は自身の土地改良区にあったソフトを選定すべく真剣な面持ちで各社の説明受け終了後には活発な意見交換も行われた。



●令和元年度 災害復旧技術向上のための講習会

2月4日（火）土地改良会館5F大会議室にて、県及び土地連のOB及び現職59名の方が参加し開催された。

大分県農村災害支援協議会の石井敏会長より、近年の異常気象等により災害が発生する確率は非常に高まっている。農村災害復旧専門技術者として、災害復旧に迅速・正確な対応ができるよう、本研修会を有意義なものとして頂きたいとの挨拶があり、研修会が始まった。

まず、大分県農村基盤整備課添田宏和主任より、農村災害復旧専門技術者制度について設立の経緯から役割、また技術者としての責務について、その後、災害の傾向について講演があった。その中で、農地及び水路の被害額が全体の

半数以上を占めており、ため池についても約1割を占めているなど、具体的数値を示した内容で技術者の皆さんもより理解を深めたものと思われる。

続いて、九州農政局農村振興部防災課平田昭一災害査定官より、災害復旧の概要から、査定設計書作成における留意点等について、具体的事例を交えながら、わかりやすい説明があった。特に、大規模災害時の対応、応急工事、被災状況写真撮影方法については、旧来から変わってきており、参加者の皆さんも新たな知見を得ることができた。最後に令和元年度の被害の概要と台風の軌道の関係について説明があり、本講習会を終了した。

●第3回監事会及び第4回理事会が開催される

令和元年度一般会計並びに特別会計の収入支出補正予算（案）について、1月31日に第3回監事会が田中利明総括監事他2名の監事が出席して開催され、原案どおり承認された。冒頭に田中総括監事から27日に季節はずれの時間雨量100mm超えの豪雨があり、被害状況の把握に努めている。災害支援協定に基づく応援を連合会にお願いするかも知れないとの挨拶があり、義経会長は要請があれば迅速に対応すると答えた。

2月5日には第4回理事会が開催され、前述の補正予算（案）や第62回通常総会提出議案並びに大分県土地改良功労者の選考について審議され、原案どおり可決された。義経会長からは、2月26日から3月4日にかけて県内7箇所で開催することを報告し、各ブロック代表理事に協力を求めた。



第3回監事会にて挨拶される田中利明総括監事



第4回理事会にて挨拶する義経会長

●第62回通常総会が開催される

例年実施している通常総会提出議案の事前説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために規模を縮小して2月26日から3月4日にかけて県内7箇所の会場で開催された。この折、義経会長が、来年度の多面的機能支払交付金において活動組織への早期交付を市町村にお願いするとともに農業水利施設の安全対策推進について会員に呼びかけた。

第62回通常総会は3月13日に予定されていたが、3月3日に県内初の新型コロナウイルス感

染者が発生したことから13日は急遽、役員補欠選任の詮衡委員会のみとし、土地改良功労者表彰式については当面延期された。

総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため書面議決が主となる総会形式で3月30日に実施された。冒頭、義経会長は初の書面議決方式となっているが、事前ブロック説明会にて会員へ説明を行い、質疑も十分にされていることから短時間での開催をお願いしたいと託され、提出された8議案すべてが承認された。

連合会の職員配置

令和2年5月11日

部署名	職名	氏名
総務部 総務課	参与	伊藤 信二
	部長	森下 健二
	課長	鶴成 厳
	課長補佐	大石 慎一郎
	主査	首藤 英介
	技師補	藤澤 匠真
	主任	吉岡 桂介
	課長	田部 文敏
	課長補佐	大塚 景介
	副主任	藤田 義昭
情報管理課	主任	十塚 弘一
	技術員	柴田 孝兵
	課長	秋吉 克則
	課長補佐	河野 智弘
情報管理係 水土里情報係	技師補	平野 祐輝
	技師	山田 翔太
	部長	松木 一宏
事業部 農村整備計画課	課長	中城 英利
	課長補佐	阿南 貴章
	主幹	工藤 寛嗣
	副主任	安部 俊郎
	主任	宇高 亮
	技師	吉田 聖
	技師補	重藤 樹弥
	課長	三代 透
	課長補佐	阿南圭一郎
	主幹	工藤 大介
企画調査係	主任	増岡 樹信
	技師	宇都宮弘樹
	技師補	佐藤 祐樹
	副主任	清家 大志
農村整備係	主任	清家 大志
	技師	佐藤 祐樹
	技師補	宇都宮弘樹
	主任	増岡 樹信
換地課	主任	工藤 大介
	副主任	増岡 樹信
	技師	宇都宮弘樹
	技師補	佐藤 祐樹
換地係	主任	工藤 大介
	副主任	増岡 樹信
	技師	宇都宮弘樹
	技師補	佐藤 祐樹
(北部国営対策班)	主任	清家 大志
	副主任	佐藤 祐樹

部署名	職名	氏名
測量課 調査測量係	課長	馬場啓四郎
	主幹	赤峰 浩之
	主幹	重光 宏昌
	技師	福田 良貴
	技師補	秋吉 大輔
	技師補	高山 遼大
中部事務所 調査設計課 調査設計係	技術員	甲斐 颯人
	所長	河野 直樹
	課長	佐々木光治
	主幹	岡部 真一
南部事務所	主任	西川 真
	技師	東 兵禪
	所長	宮本 良雄
	次長	河野 浩一
調査設計課 調査設計係	課長	伊東 哲士
	主幹	板井 正信
	主幹	麻生 晶広
	主任	赤嶺 孝輔
西部事務所 調査設計課 調査設計係	主任	古庄 巧
	所長	清水 寿和
	課長	宮尾 文康
	主幹	梅本 隆男
北部事務所	主任	江田 敏寿
	所長	清末 功一
	次長	佐藤 公博
	課長	麻生 賢正
調査設計課 調査設計係	主幹	小川 剛
	主任	松本 浩一
	技師	山本 勇樹
	技師	塗木 一輝

県の職員配置

令和2年4月1日、主幹級以上

部署名	職名	氏名
【農林水産部】 農村整備計画課	部長	大友 進一
	審議監	光長 伸彦
	課長	黒垣 圭則
	農村整備計画監	永野 和範
	参事	森迫 光晴
	課長補佐	松尾 信弘
	課長補佐	小林 康二
	課長補佐	井下 哲二
	課長補佐	法野裕二郎
	主幹	足立 淳
	主幹	菅原 貴美
	主幹	有延 滋
	主幹	木村 勝博
	主幹	宮崎 裕子
農村基盤整備課	主幹	佐藤 洋祐
	主幹	河野 幸治
	課長	安東 正浩
	課長補佐	小野 辰三
大分県中央飛行場 管理事務所	課長補佐	本田 豊治
	主幹	後藤 土朗
工事技術管理室	所長	大野 秀樹
	室長	後藤 貴之
	主幹	吉松 亮
【東京事務所】 【土木建築部】 工事検査室	主幹	市原 広文
	参事	辻野 泰弘
公園・生活排水課	主幹	坂元 大輔
	主幹	池上 正人
【東部振興局】 農林基盤部	課長補佐	佐藤 広光
	局長	後藤 豊
	次長	衛藤 照美
	部長	今仁 俊行
	課長補佐	吉武 史弥
	主幹(総括)	瀧波 悦史
	主幹	黒岩 聡
日出水利耕地 事務所	主幹	黒岩 聡
	所長	山本 文博
	課長補佐	河野 一憲
	課長補佐	諫元 伸宏
	課長補佐	麻生 春治
	主幹(総括)	亀井 正彦
農林基盤部	主幹(総括)	甲斐 颯人
	主幹(総括)	甲斐 颯人

部署名	職名	氏名
【中部振興局】 農林基盤部	局長	磯田 健
	次長	宮本 裕治
	部長	河野 哲也
	課長補佐	田中 賢治
	主幹	渡邊 敬介
	主幹	瀧田 和樹
【南部振興局】 農林基盤部	主幹	中野 篤史
	局長	高橋 強
	次長	木許 英昭
	部長	木野 健光
【豊肥振興局】 農林基盤部	課長補佐	小山 長則
	主幹(総括)	工藤 和
	局長	加藤 正明
	次長	中津留康夫
豊後大野水利 耕地事務所	部長	穴見 文六
	課長補佐	宮成 俊治
	課長補佐	牧 政彦
	主幹(総括)	工藤 徹
	所長	小深田浩一
	課長補佐	高倉 義治
大野川上流開発 事業事務所	主幹(総括)	瀨川 幸弘
	主幹(総括)	佐保 貴之
	主幹	小崎 智
	主幹	伊藤 裕司
	所長	赤木 恵治
	課長補佐	田北 茂広
【西部振興局】 農林基盤部	課長補佐	赤嶺 謙二
	主幹(総括)	衛藤 博司
	主幹(総括)	手嶋 康人
	局長	河野 哲郎
【北部振興局】 農林基盤部	次長	渡邊 則明
	部長	吉田 直人
	課長補佐	末廣 理
	主幹(総括)	工藤 博昭
	主幹(総括)	木田 俊吉
	主幹	野上 康則
農林基盤部	局長	田邊 隆司
	次長	足立 晃成
	部長	野上 輝義
	課長補佐	都留 俊明
	課長補佐	辛島 光彦
	主幹(総括)	後藤 正徳
	主幹(総括)	甲斐崎一成
	主幹	園田 耕司

水土里ネット大分 各部課所長の紹介



● 参与 伊藤 信二

頻発する大規模災害や法改正対応など土地改良を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、求められる会員の人材確保・体制整備等への支援強化に向け、一層努力して参る所存ですので引き続き宜しくお願い致します。



● 総務部 部長 森下 健二

この度の人事異動により総務部長に着任致しました。総務事務の円滑な遂行により会運営の健全化に努めるとともに、会員支援課、情報管理課業務の統括を行い、土地改良法改正に伴う諸課題をはじめ会員の方々のご要望に添えるように努力して参ります。



● 事業部 部長 松木 一宏

今年度、事業部長を拝命しました松木です。今後の農業・農村整備につきましては、水田畑地化や大区画化と併せ、農地の集積・集約化と生産コストの削減が可能な基盤整備や、災害に強い農村づくりに向けた防災・減災対策を推進していく必要があると考えています。まだまだ微力ではございますが、会員皆様方と連携し最大限努力していく所存です。



● 総務課 課長 鶴成 徹

総務課では、総務全般の業務に加え、総会や理事会、各種協議会等の会議を行っております。総務部署の配属は初めてでございますが、職員7名で会員皆様方の要望に沿えるよう努力して参ります。



● 会員支援課 課長 田部 文敏

会員支援課長2年目となります。会員支援課では会員の皆様による各種相談への対応や体制強化事業、多面的機能支払などの各種補助事業に取り組んで参ります。また、法改正に伴う資産評価や複式簿記等への迅速な対応も行いながら会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



● 情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課では、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（研修、保守運用）の業務を行っております。併せて、「大分県水土里情報センター推進協議会」の事務局も担っており、課員7名で皆様のご要望に沿えるよう一層努力して参ります。



● 農村整備計画課 課長 中城 英利

農村整備計画課では新規事業の啓発、推進等を行う計画部門と防災・減災、国土強靱化対策に関する調査、農業集落排水事業の実施設計等を行う実施部門があります。「持続可能で力強く豊かな農業農村」となるための一助として課員一丸となって努力して参ります。



● 換地課 課長 三代 透

換地課に復帰して2年目になります。県下一円の換地業務についての事務及び関係する各種研修、情報の提供などを行っています。

換地手法を最大限活用し、県・市町村はもとより、地元関係者と十分話し合いを行いながら、農地の集積・集約化が加速するよう、努めて参ります。



● 測量課 課長 馬場 啓四郎

測量課長2年目となります。測量課では、境界測量や確定測量等の業務を実施していますが、本年度も昨年度同様、換地課との連携により、換地処分登記に関する地積測量図や確定図作成等の業務に対応していきます。総勢10名、一致団結して、発注者の要望に応えられるよう努力して参ります。



● 中部事務所 所長 河野 直樹

中部事務所では、大分市、由布市、臼杵市、津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。県、市、土地改良区の皆様方のご要望に応えるよう職員5名一丸となって会員支援並びに事業推進に向け努力して参ります。



● 南部事務所 所長 宮本 良雄

南部事務所では、佐伯市、豊後大野市、竹田市における農業農村整備事業の調査・設計業務を行っています。職員8名で前記の業務に加え会員支援並びに事業推進を図り、会員皆様方に満足して頂けるよう努力して参ります。



● 西部事務所 所長 清水 寿和

西部事務所は、日田市、玖珠町、九重町における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。総勢5名と少数ですが、会員支援並びに事業推進を図り、皆様のご要望に沿えよう努力して参ります。



● 北部事務所 所長 清末 功一

北部事務所は、中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、姫島村、杵築市、日出町、別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。

総勢8名で、県・市町村・土地改良区の皆様方のご要望に応えるべく努力して参ります。

おつかれさまでした

佐藤 公紀

昭和56年4月入会以来、39年の永きにわたり勤務して参りましたが、3月31日をもって退職致しました。これまでの御愛顧に対して感謝の気持ちでいっぱいです。4月から会員支援課事務専門員として会計指導を中心に会員支援業務に携わっていくことになりました。引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

舞 亮止

昭和56年4月に入会し、令和2年3月末まで39年間大分県土地改良連合会並びに会員皆様方に大変お世話になり感謝を申し上げます。農業農村整備事業も区画整理・農道整備事業の全盛期・ガットウルグアイ施策・総合整備事業・ストックマネジメント事業・多面的機能支払事業等、時代の流れとともに激動したように思います。また近年の地震や豪雨災害等気象変動も危惧されます。令和2年4月から微力ではありますが、技術専門員として農村整備計画課で引き続き事業計画等お手伝いすることとなりました。今後とも宜しくお願い致します。

令和2年度新規採用職員の紹介



総務課 総務係 藤澤 匠真

小・中・高・大と野球をしてきました。野球を通して学んだ挨拶や礼儀、チャレンジ精神を会社でも実践し連合会、社会へ貢献できるよう頑張ります。宜しくお願い致します。



農村整備計画課 農村整備係 重藤 樹弥

この度新規採用されました重藤です。これから土地改良について多くのことを学び、先輩方のご指導のもと一日でも早く地域に貢献できるよう日々精進して参ります。宜しくお願い致します。



測量課 調査測量係 甲斐 颯人

この度、新規採用された甲斐颯人です。農業土木は未経験ですが、これまで身につけてきた礼儀を大切に、先輩方からたくさんのご指導を受けて技術を学び、知識を学び精進して参ります。

また、土地改良事業について勉強し、知識、技術を身につけ、一日でも早く水土里ネット大分に貢献できるよう頑張っていきます。宜しくお願い致します。



会員支援課 会員支援係 柴田 享兵

小さい頃から野球をしており、これまで身につけてきた礼儀などを大事にし、先輩方のご指導を受け技術、知識を学び一日でも早く水土里ネットに貢献できるよう頑張っていきますので宜しくお願い致します。

令和2年度 土地改良区関係年間主要行事（予定）

行事	開催日	曜日	場所	行事	開催日	曜日	場所
7月 九州協議会九州農政局合同要請	中旬		熊本市	1月 土地改良役職員研修会	1/21	木	別府亀の井ホテル
九州協議会農水省合同要請	下旬		東京都	2月 第63回通常総会提出議案ブロック説明会	下旬～		各ブロック
8月 第8回土地改良振興大会	8/31	月	ホルトホール大分	3月 第63回通常総会	3/12	金	土地連
10月 全国土地改良大会	10/14	水	群馬県	第62回全土連通常総会、土地改良功労者表彰式	下旬		東京都
1月 土地改良区理事長会 県知事との懇談会	1/15	金	知事室				



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）
TEL097-536-6631 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

